



# Le Journal de l' Etoile.

## エトワール祭を終えて

本年9月28日(土)・29日(日)、エトワール祭を無事に開催することができ、ようやくほっと一息ついています。思い返せば、私たちが中学に入学した2020年度は、新型コロナウイルスの影響で中止でした。翌年はオンライン、その翌年は制限付きの対面開催と、試行錯誤が続き、そして昨年、やっと通常開催をすることができました。その時の経験を活かし、さらなる盛り上がりを目指し、全校生徒一丸となって準備に取り組んだ今年のエトワール祭でした。

売店でのPayPayの導入、企画の人気投票をデジタル化、さらに文化祭実行委員による喫茶の復活など、様々な新しい取り組みにも挑戦しました。準備日もあいにくの悪天候でしたが、課長陣のリーダーシップにより前倒しで準備が進められ、また後輩たちも迅速な仕事で応え、大きな混乱はありませんでした。

準備期間中、高田校長がお忙しい中でも実行委員会本部を訪ねてくださり、ユーモアあふれるお言葉で鼓舞してくださったことは、たいへんな励みでした。開会式では、生徒会の先生のご尽力もあり、卒業生の賀来賢人先輩から頂戴した激励のメッセージをみんなにお届けできて、最高潮まで高まった士気が感じられました。忘れられない瞬間です。

実行委員会の活動を通じて築かれた学年を超えた交流は深く、また遊び心を忘れない先生方とは一体感を持って活動でき、準備期間も当日も、暁星ならではの素晴らしい繋がりを実感していました。みんなで一緒に目標に突き進んだこの経験と絆は、一生の宝物となるでしょう。

今年度のテーマ「俺たちの遊園地へ飛び込め」には、ご来場の皆様にはアトラクションを存分に楽しんでいただき、生徒自身もおもてなしに夢中になることで、そこにいる全ての人たちに素晴らしい時間を過ごしてほしいという思いを込めました。それだけに当日、ご来場の皆様と暁星のみんなの姿を見て、かつて味わったことのない達成感と感動がこみ上げてきました。関係するすべての方々にも、この2日間を思い出の1ページにさせていただけたなら幸いです。

この1年間に及ぶエトワール祭準備の中で、実に多くの困難に直面しました。しかし、その度に実行委員会のみんなで協力し、連携を取り合って課題を克服し、少しずつ成長していくことができたと思います。責任の重い役職でしたが、やりがいの感じられた1年でもありました。

最後になりますが、ここまで沢山支えてくださった生徒のみんな、高田校長をはじめとする先生方、同窓会の皆様、保護者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして心から御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

2024年度 エトワール祭実行委員会

委員長 K・S

副委員長 R・S